

九国プレ 2012

解答・解説

九州国際大学附属中学校

— 国 語 —

《解答》 (配点) 一 40点 二 40点 三 20点

一

- 問一 ① 正確 ② 提供 ③ 食費 ④ 喜ん ⑤ 貯め (各2点)
 問二 A ウ B エ C ア D イ (各2点)
 問三 ウ (2点)
 問四 労働力 (2点)
 問五 あ 物々交換 い いつでも う 可能 (各2点)
 問六 保存が簡単で、腐らず、かつ価値があるという特徴 (二十三字) (3点)
 問七 「価値の保存」…エ (3点)
 「価値の尺度」…イ (3点)
 問八 イ (3点)

二

- 問一 ① うらにわ ② ざつそう ③ すばやく ④ じゆくどく
 ⑤ ちようたつ (各2点)
 問二 ア (3点)
 問三 【例】家みたいに見せる (八字) (3点)
 問四 願いとばし (3点)
 問五 【例】彼は学級委員に推せんされて、口ではなんとか言っているが、まんざらでもないらしい。(2点)
 問六 【例】気持ちが晴れていった (※文字数指定なし) (3点)
 問七 エ (3点)
 問八 A 【例】さびしそ (3点)
 B 【例】けんめいに (3点)
 C 家族 (3点)
 D 【例】感謝 (4点)

三

- 問一 ① 親 ② 答 ③ 短 ④ 損 (各2点)
 問二 ① 顔 ② 目 ③ 腕 (うで) ※ひらがなでも可 (各2点)
 問三 ① 五 ② 千 ③ 三 (各2点)

《解説》

一

- 問一 小学校六年間で学習する漢字から出題しています。まちがえたものはしっかりと覚えましょう。また、送りがなも正しく書けるようにしましょう。
- 問二 接続語（つなぐ言葉）の問題です。空らんの前後をしっかりと読みましょう。Aの後の文は、前に出てきた「物々交換」について、「大きな障害がある」とあります。「物々交換ができる」しかし「物々交換には障害（問題）がある」という流れですので、Aには逆の内容を示す「ところが」が入ります。Bの文の後には、「物々交換」の障害について、魚を手に入れたい人の例を示しています。ですから、Bには「たとえば」が入ります。Cの文の後には前の文を元にして別の例をしめす「また」が入ります。Dに入る「もつとも」という語は、「当たり前・当然」という意味をもつ語です。「おカネは交換をするときに、みんなに喜んで受け取られる」のは「当たり前だ」という文の流れになります。
- 問三 主語と述語の問題です。主語とは、「くは」「くが」にあたる言葉ですが、述語の「行われます」の行われることが「何か」により、主語は決まります。述語にかかる言葉は「何か」をしっかりと考えましょう。
- 問四 「交換の対象となるモノ」の、モノ以外を答える問題です。「サービス」も答えになるのですが、問題文には、漢字三字で、とあるので「労働力というサービス」の部分から、「労働力」を書きぬきましょう。
- 問五 前までの文章には、「物々交換」の問題点が書かれています。その問題を解決してくれるのが「おカネ」です。おカネが登場する背景には、「いつでも交換が可能ではない」という、物々交換の問題点があるのです。それを空らんにあてはまるように書き入れましょう。
- 問六 本文中には、「『交換の手段』となるための特徴」が二つ述べられています。一つは、「常に、誰もが、いくらでも欲しい」という、そのものに価値がある、という特徴です。もう一つは、「保存が簡単で、かつ、腐らない」という特徴です。これらの二つをまとめて述べているところを探しましょう。ちなみに、「かつ」という言葉は、「さらに」という意味です。
- 問七 おカネが持つ、「価値の保存の役割」と「価値の尺度としての機能」の働きについて、理解をしているかを問う問題です。「価値の保存の役割」とは、昔のおカネも価値が保存されていて、今でも価値がある、ということですから、「昔のおカネを今でも使うことができる」という内容のエが答えです。「価値の尺度」は難しかったかもしれませんが、「尺度」とは「基準」「ものさし」という意味の言葉です。古びたジーンズは、皆さんの価値の「ものさし」で見ると、古いから安いと感じるかもしれませんが、リサイクルショップの人の持つ「ものさし」では五万円になり、それぞれの「基準」がちがうことが分かります。したがって、答えはイとなります。

問八 本文中に書かれていない選択肢を消していくのが、正解にたどりつくポイントです。アは「最初に『おカネ』についての結論を示し」、という部分がまちがいです。最初に示しているのは交換の手段としての「物々交換」です。ウは、「『おカネ』の未来にまで話を展開させている」、という部分がまちがいです。本文は、「おカネ」の持つ機能について述べており、未来までは書かれていません。エは、前半はよいのですが、後半の「それに踊らされている人間のおろかさをなげいている」という部分が本文中には書かれていません。よって正解はイになります。

二

問一 漢字の読みの問題です。一の漢字と同じように、送りがなに注意しましょう。

問二 「足をすくわれる」という言葉は、本来「足をすくう」という言葉で『相手のすきをついて失敗させる』という意味です。走っていく麻利を太輔が追いかけていき、そこに蟬とカエルの鳴き声が響く。急な鳴き声に、おどろき、うまく走ることができない。というのがこの場面です。イは「まったく前に進めない」という表現が言いすぎです。

問三 「ほら、家なんだからクツぬいで」という言葉や、「こうしてきれいに掃除されると、まるで家みたいに見えた」という表現から答えが導けますね。

問四 この施設の皆がつくろうとしたのは『家族』です。家族となった皆ができること、家族となつてしたかったことは、後の佐緒里の「家族だよ。だから、願いとばし、していいんだよ」という言葉から、「願いとばし」であることがわかります。

問五 「まんざらでもない」とは「必ずしも悪くない」または、「かなりよい」という意味の言葉です。やや難しい言葉ですが、美保子が口紅をして、うれしそうにしている様子を想像すれば、意味がわかるでしょう。

問六 「口をきかない」とおこつていた太輔の気持ちがどのように変化したかを、たとえを使つて述べた部分の読み取りです。けんかをしていて「もやもや」としていた心にある塊が、お湯の中に入れた氷のように溶けていく。「もやもや」の「塊」が「溶けていった」ということは、「もやもやがなくなった」＝「気持ちが晴れた」ということになります。

問七 約束をやぶつてしまい、申し訳なく思っている佐緒里が、太輔に「願いとばし、できないかな」と、同意を求めている場面です。その後の、「家族だよ。だから、願いとばし、していいんだよ」という言葉にも、気持ちが表れていますね。

問八 太輔が、思わず「泣きたくなった」理由を空らんにあてはまるように、考えて書く問題です。前文に、太輔は、両親を事故で亡くし、施設にあずけられている、とあります。麻利も何らかの理由で施設にあずけられているわけですから、Aには、その生活の中で、太輔や麻利が同じように感じている「さびしさ」といった気持ちが入ります。Bには、その気持ちを感しながらどのように生きているかを表す言葉が入ります。Dには家族をつくってくれた皆に対する「ありがとう」という思いを表す「感謝」が入ります。二の総まとめとなる問題です。登場人物の気持ちが読み取れたでしょうか。

三

- 問一 漢字検定にも出てくる、類義語・対義語の問題です。たとえば類義語では、一つの意味でも、いろいろな表現のしかたがあるということを知りましょう。①の「厚意」の「厚」の字には、「やさしい」という意味があります。②の「返事」、「応答」は、どちらも「こたえる」ことです。③は「延ばす」として、「短くする」ことが対になっています。④の「利益」は何かをすることによって「得られる」として、「失う」の意味を持つ「損なう」ことが対になっています。
- 問二 慣用句の問題です。慣用句には、体の一部を使ったものがたくさんあります。他にはどんな慣用句があるのか調べてみましょう。
- 問三 ことわざの問題です。「一寸の虫にも五分のたましい」とは、弱いものにも考えや意地がある、という意味です。「悪事千里を走る」とは、悪いことはかくに苦しんでもがまんして続けていけば、必ず成功する、ということを表します。

— 算 数 —

1 (計算問題) 4点 × 5 = 20点

整数、小数、分数の計算は何度も練習しましょう。また□をうめて計算式を完成させることも、しっかり練習しておきましょう。

- (1) 14 (2) 85 (3) $\frac{1}{10}$ (4) 4.776 (5) 81

2 (量と測定) 4点 × 6 = 24点

図形の辺の長さや面積を求めるなど基本的な問題です。問題をよく読んで解きましょう。

(1) 1400 g

体重が 54.6 kg の人の血液は、 $54.6 \times \frac{1}{13}$ kg で、その $\frac{1}{3}$ を失うと、命が危なくなります。

よって、 $54.6 \times \frac{1}{13} \times \frac{1}{3} = 1.4$ (kg) $1.4 \text{ kg} = 1400 \text{ g}$

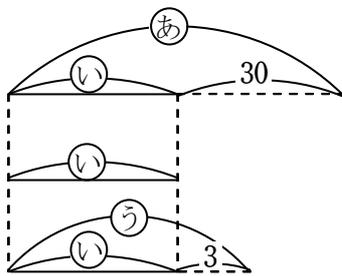
(2) ① $200 \times x + 80 = y$

ケーキ代は $200 \times x$ 円、箱代は 80 円、その合計が y 円なので $200 \times x + 80 = y$

② $x \div y = 1\frac{1}{2}$

道のり ÷ 速さ = 時間なので、90 分 = $1\frac{1}{2}$ 時間に注意して、 $x \div y = 1\frac{1}{2}$

(3) 72



①, ②, ③ の大小関係を図式化すると、左のようになります。

したがって、3つの数の合計は、① × 3 + 33 となります。

よって、① × 3 + 33 = 159

① × 3 = 126

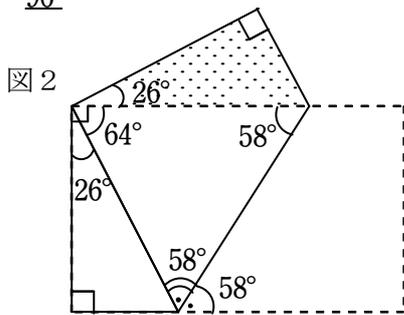
① = 126 ÷ 3 = 42

② は ① より 30 大きいので、② は 42 + 30 = 72。

(4) 39.25 cm^2

$10 \times 10 \times 3.14 \div 4 - 5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25$ ($39\frac{1}{4}$, または $\frac{157}{4}$ でも可)

(5) 96°



問題で与えられた 58° は、図2の二重線の角の位置になります。

等しい角や三角形のすべての角をたすと 180° になることを利用すれば、図2に示されている角がわかります。

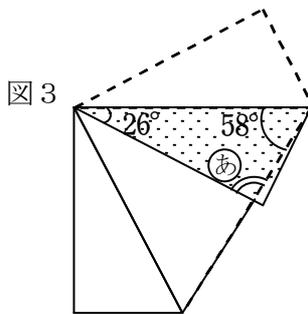


図2の色のついた部分を折り返してできた図が、図3になります。

よって②の大きさは $180^\circ - (26^\circ + 58^\circ) = 96^\circ$ となります。

3 (図形) 5点 $\times 4 = 20$ 点

展開図を組み立てるとどんな立体になるかわかるようにしましょう。

立体の表面積、体積を求められるようにしましょう。

- (1) 3本
- (2) 84 cm^2
- (3) 36 cm^3
- (4) 27 cm^3

真横から見ると、上底が 1.5 cm 、下底が 3 cm の台形になるので、

$$(1.5 + 3) \times 2 \div 2 \times 6 = 27$$

4 (数量関係) 5点 × 4 = 20点

グラフを予想して問題を考えましょう。

(1) 分速 200 m

犬の速さは $400 \div 2 = 200$ よって分速 200 m

(2) 10分40秒後

ねこの速さは $(400 - 100) \div 2 = 150$ よって分速 150 m なので、

$$400 \times 4 \div 150 = 10\frac{2}{3} \text{ (分)} = 10 \text{ 分 } 40 \text{ 秒}$$

(3) 7分20秒後

うさぎの速さは $(400 \times 2 + 100) \div (2 \times 2) = 225$ よって分速 225 m なので、

$$400 \div (225 - 150) = 5\frac{1}{3} \text{ (分)} \quad 5\frac{1}{3} + 2 = 7\frac{1}{3} \text{ (分)} = 7 \text{ 分 } 20 \text{ 秒}$$

(4) $13\frac{1}{3}$ 秒

3周目で追いつくことから、最後の1周だけの差になります。

$$2 - 400 \div 225 = \frac{2}{9} \text{ (分)} \quad 60 \times \frac{2}{9} = 13\frac{1}{3} \text{ (秒)}$$

5 (規則性) 4点 × 4 = 16点

(1) ①… 2, ②… え (両解)

(2) 61 組目

12と5の最小公倍数は60なので、61組目からまた1組目と同じ組み合わせになります。

よって、1組目の[1, あ]が再び現れるのは、61組目ということになります。

(3) 39 組目

どんな数と文字の組み合わせであっても、初めて出てくるのは1組目～60組目のどこかです。また、1段目の数が3となるのは、12で割ると3余る数の組、つまり

3組目, 15組目, 27組目, 39組目, 51組目

のいずれかです。また、2段目の文字が「え」となるのは、5で割ると4余る数の組ですから、39組目ということになります。

(4) 167

1組目～60組目の中に、[1, う], [2, う], … [12, う]のすべてがあります。61組目～120組目も同様です。また、121組目～130組目には、[3, う], [8, う]の2組があります。

よって、 $(1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 + 11 + 12) \times 2 + 3 + 8 = 167$ 。